

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
鳥取短期大学 体育館・大講義棟

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
■評価ソフト: CASBEE-NCB_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		4.2	0.15	-	-			4.2
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-			
1 暗騒音レベル	敷地は樹木に覆われた環境で交通量も少ない場所(大平山 福庭)	4.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策				-	-			
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能	教室のアルミサッシは遮音等級T-2としている	5.0	0.30	-	-			
2 界壁遮音性能	教室の界壁はコンクリート造としている	5.0	0.30	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	上階の体育館床スラブ厚はRC造250mm、二重床は高遮音床システム	5.0	0.20	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	上階の体育館床スラブ厚はRC造250mm、二重床は高遮音床システム	5.0	0.20	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.8	0.35	-	-			2.8
2.1 室温制御		2.6	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.60	-	-			
2 負荷変動・過熱抑制性				-	-			
3 外皮性能		2.0	0.40	-	-			
4 ゾーン別制御性				-	-			
5 温度・湿度制御				-	-			
6 個別制御				-	-			
7 時間外空調に対する配慮				-	-			
8 監視システム				-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-			3.1
3.1 屋光利用		2.4	0.30	-	-			
1 屋光率		2.0	0.60	-	-			
2 方位別開口				-	-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 網罟露葉のグレア				-	-			
2 屋光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度		5.0	0.15	-	-			
1 照度	照度は837ルクスである	5.0	1.00	-	-			
2 網罟露葉				-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.9	0.25	-	-			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	建築材料は、建築基準法規制対象外となる建材を使用する	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策				-	-			
3 放射性物質				-	-			
4 レンガ塗料対策				-	-			
4.2 換気		3.6	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮	給気口は汚染源のない場所で、排気口とは反対の外壁に設置し	5.0	0.33	-	-			
4 網罟露葉				-	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	大学敷地内は全て禁煙としている	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能			0.30	-	-			3.2
1 機能性		3.0	0.40	-	-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性				-	-			
2 高度情報通信設備対応				-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.50	-	-			
2 リフレッシュスペース				-	-			
3 内装計画		3.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管はVLP、排水管はVPを使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-
1	階高のゆとり	階高=5700mm	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	多数の学生を収容するため広い空間となっている	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり		大講義室の床荷重=2900N/m ²	4.0	0.31	-	-
3.3 設備の更新性			2.8	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		公共空間からほとんど見えない	3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地に対して建築面積及び舗装面積の割合が少ない	4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.7	0.30	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-
1.1	節水	節水コマ及び擬音装置(女子トイレ)を使用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、断熱材:ノンフロン(グリーン購入法適合)、再生砕石	5.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上の「別がが容易である」部分が大多数を占める	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着剤は有害物質を含まない材料を使用する	4.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火設備はない	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止		燃焼機器はない	5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明はない	4.0	0.70	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-